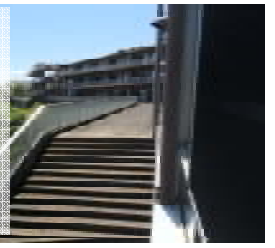




田谷の風

第43号

発行日:令和3年5月10日(四半期発行)
介護老人保健施設ケアポート・田谷機関紙
〒244-0844 横浜市栄区田谷町 2030-3
TEL:045-858-5882
発行責任者:吉田憲一



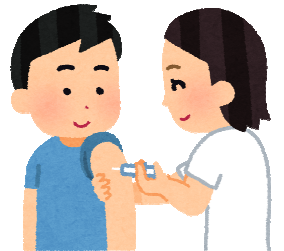
希望の光 (新型コロナワクチン予防接種を受けて)

感染症予防委員会委員長 原田 尚英

2019年12月中国にて初めて新型コロナウイルスの感染が確認されました。発生当初、私は「日本に来なければいいな～」程度の軽い認識でいましたが、時間がたつにつれ徐々に世界中に拡大し、日本でも2020年1月に初めての感染が確認されました。感染の初確認と同時に急激な感染拡大がみられ、私も「日本は今後どうなるのだろう?」「もし自分が感染したらどうしよう」など不安な日々が始まり出しました。その後も感染の縮小は見られず、新生活様式の実施やステイホーム・国による緊急事態宣言・蔓延防止措置が発令され流行を食い止めようと努力をしていますが、今でも多くの死者が出ている悲しい現状が続いています。

当施設でも定期の体温測定・手指の消毒など感染防止対策を行い、幸いにも感染の発生は無く経過していますが、面会の中止・外出レクの中止など様々な制限が続き、ご利用者・職員共に不安や心配の日々を送っています。

そんな日々の中、今年の3月下旬国の政策にて新型コロナワクチン予防接種を高齢者から先行で行う事が決まり、幸運にも当施設は横浜市より第1回目のワクチンの供給が4月12日に行われる事になりました。



今回のワクチンはmRNAワクチンという新しいタイプのワクチンで、副反応が他のワクチンと比べて出現しやすいとの情報があり、予防接種に対して不安の声が聞かれることがありました。また、準備期間が短いのもあって対応の難しい部分がありましたが、職員・ご利用者の協力のもと無事に1回目の予防接種を完了することが出来ました。この記事が新聞にのる頃には2回目の予防接種も完了していると思います。

私自身の気持ちですが、今回の予防接種で、コロナに対する不安や心配が軽くなり、少し未来が明るくなって感じるのと同時に以前より気分が少し前向きになるのを感じました。



今後、全国でワクチン接種が行われ感染が縮小されるのを祈ると共に、以前の生活の様に、ご利用者やご家族の面会や行事が行われ、沢山の笑顔が見られる様になればと思います。

お花見と雨と海

今年もお花見の季節がやってきました。

当日は、朝から晴れ渡る良い天気とはなりませんでした。が、冷え込むことなく満開となった桜を、楽しんで頂きました。お花見を行う場所が施設内から見られるのですが、建物を大回りする様にして行く為、ちょっとしたお散歩にもなり、なかなか外に出る機会が減っている中で、外の空気などにふれ良い気分転換になったのではないかと思います。桜を見ながら一人一人記念写真を撮りました。桜を見て「立派に咲いているね」、「きれいね」などの声が聞かれ喜んで頂きました。

ただ、お昼頃より徐々に雨がポツリポツリと降り始め、午後もお花見を予定していましたが、屋根がない為行えず、急遽数名のご利用者限定になってしまいましたが、花見ドライブへと行かせて頂きました。ドライブは雨天の際予定していたのですが、突然の雨に降られた事に急遽、声掛けにて参加して頂いた為、ご利用者には伝えていなかった事もあり、びっくりされ、どこに行くんだろうと始めは困惑気味でした。

ルートは、鎌倉山を通り、車内から桜を見た後は、江ノ島から海岸線を通りながら海を見て帰路につきました。行く際はびっくりさせてしまいましたが、今まで海を見たことがなく今回初めて見られたと大変喜んで頂きました。

雨が降ってしまい、ご利用者全員が参加出来なかった事は残念でしたが、

コロナウィルスの影響もあり、なかなか外出の機会が作れない状況が続いていた中で、ドライブが行えた事は、少しではありますが1歩前に進めたのではないかと思います。

来年の今頃は今よりもコロナが落ち着いている事を願いつつ、今後も状況をよく見て判断し、ご利用者が楽しんで頂けるレクリエーションを1つでも多く行いたいと思います。

2階介護 渋谷・塚田

3F 花見(施設内)

今年は3月から春の陽気が続き桜の開花も例年よりかなり早くなりました。企画を組む者として例年は予想がかなり難しく見頃を外してしまうこともありました。

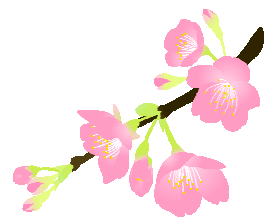
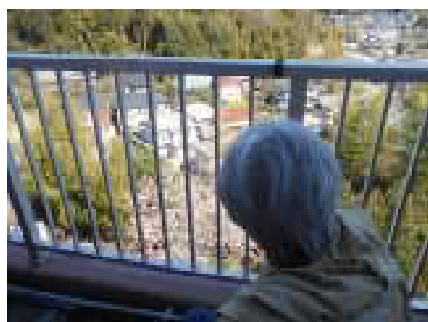
しかし今年は新型コロナウイルスの影響もあり3Fでは施設内での桜見学を行いました。ご存じの方も多いと思いますが、当施設は高台に建てられていることもあり桜を真上から眺めることができます。これがご利用者にも好評で驚きと喜びの声を聞くことができました。

しかし見学当日はそれほどの寒さは無かったものの、北風が吹き日陰なこともあり

短時間での見学となってしまいました。

この1年は本当に大変なことになってしまいました。来年も元気に桜見学ができるようにご利用者はもちろん、職員も持ち込まないよう引き続き気を付けて生活するよう心掛けていきます。では本年度もよろしくお願いいたします。

3階介護主任 森野





吾輩はプレコである。名前はまだ無い。どこで生まれたかとうんと見当がつかぬ。何でも灰暗い水の底でビチビチと泳いでいた事だけは記憶している。吾輩はここで初めて人間というものを見た。

さて、この未曾有のウイルス禍においてペットが流行りだそうで、犬猫は言うに及ばず魚も人気だと

か。当施設においてもデイフロアで金魚、そして3F フロアで熱帯淡水魚を飼育している。この魚飼育（アクアリウム）というものは、なかなか手間やお金が掛かるものだが、他の趣味と違う所はバクテリアという目に見えない微生物の力を借りることで、水質を安定させることである。飼育のキモは水質管理と日々の観察そして愛であると小生は断言する。

現在、3F の90cm水槽では8種類60匹程度の熱帯魚が泳いでいるが、その中に冒頭のプレコもいたりする。このプレコという魚、外皮が固い皮膚で覆われており、鎧を纏っているように見えるのでヨロイナマズと称されている。気になる方はネットで画像検索してもよろしいかと。こんな世の中でストレスの多い社会である。癒しを求めて、ペットを飼いたいというのも頷ける。皆様も一家に一台、水槽なんて如何であろう(笑)。

追伸：冒頭で敬愛する漱石先生の有名な作品をもじってみたが、機会があれば続きを書いてみたいものである。元熱帯魚屋店員の介護士より愛を込めて。

3F 介護副主任 齋藤



暖かさ増し、とても過ごしやすくなり、春の訪れを感じています。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

さて、施設内1階廊下（自動販売機横通路）に小さな白い窓があるのをお気付きでしょうか？そこに、デイケアでご利用者に作って頂いた貼り絵が飾られています。絵が小さめなため、細かい作業工程となり、ご利用者にとっては、難しいこともあったと思われますが、一生懸命作って頂き、とても素敵な作品が何枚も出来あがりました（花卉などがとても小さく、貼りにくかったと思われます）。



時期をずらしながら、絵を差し替えていく予定です。ぜひ、皆様ご覧になってください。また、デイケアルームの窓に大きな壁画（桜の絵）が飾ってあります。デイケアでは月に一度、作業週間を設けております。



ご利用者全員で、この壁画作りを行いました。現在コロナ禍ということもあり、ソーシャルディスタンスを保ちつつ、折り紙をちぎる方、貼る方にわけて作成にあたりました。青空に桜が広がる絵が完成したとき、ご利用者に笑顔がみられ、私もとても嬉しく思いました。こちらの作品も、ぜひご覧になって下さい。

今後もまた、ご利用者とともに、より良い作品作りを続けていきたいと思ひます。

通所介護副主任 上野

田谷のお花見は“秋”から？

桜といえば“春”のイメージだと思いますが、デイケアのお花見は去年の“秋”から始まりました。旅行や飲食もままならず、何もかもがこれまでの

日常とかけ離れた昨年。桜が咲いたのは、木々が紅や黄色の衣装をまとう、まさに秋深まる頃のことです。深秋と言え、もう大気がひんやりし、道路に落ちた紅葉や銀杏を眺めることで冬の訪れを感じる時期ですが、昨年は少し違っていました。季節は秋と表すより、晩夏と初冬が代わる代わる訪れているように寒暖差が激しく、例年と違い体調管理の面でも大変だったと記憶しています。皆様もご苦労なさったのではないのでしょうか？

そんなある暑い日の事です。デイケアの散歩コースにある2本の河津桜は、春が来たと勘違いをしたのかポツリポツリと咲き始めてしまいました。イレギュラーな桜の開花はコロナ禍の世情にミックスし、心を乱す要因として十分すぎる光景でした。



その実、今思い起こすと、散歩の度にそそっかしい桜の花たちの華やかな姿に癒され、心は安らぎを得ていたのかもしれない。



そして年が明け2月の中旬を迎えると、花達がこれまでの勘違いは前座とばかりに咲き初め、色濃い艶やかな姿となりました。河津桜の舞台は、実に5か月にも及ぶものでした。

そして幕間は短く、舞台袖からソメイヨシノのお出ましです。ケアポート・田谷は、他所にも自慢できるくらい見事なお花見スポットです。何と言っても眺めが最高です。

リハビリで歩く屋外コースでは、それぞれの桜を見降ろしたり見上げたりしながら眺めるため、鮮やかな青空や新緑の大地でお色直しをしている様な、そんな姿を拝見しながら歩くことができます。

ただ今年のお花見は例年と違い、皆様と他所へお花見に出かける事は出来ませんでした。そのためケアポートをお花見会場とし、ささやかながらではありますがおやつを食べながらのお花見会を行いました。季節の変化を楽しむには良い機会に成り得たかなと思っています。



そして最後には八重桜が可憐に咲き誇り、季節を間違えたあわてんぼうの花達から、約半年もお花見を堪能する事ができました。花々には感謝です。



これからも、なかなか困難な時期が続くと思われます。来年には状況が収まり、皆様とともにお花見が出来る事を、切に願っております。

咲いては散り、咲いては散り...

桜を眺めるひと時と同じく、この辛い時世も生涯において繰り返される僅かな期と思い、桜に感謝しながら生活の安寧を願いたいと思います。

通所介護 平野